

分科会:1

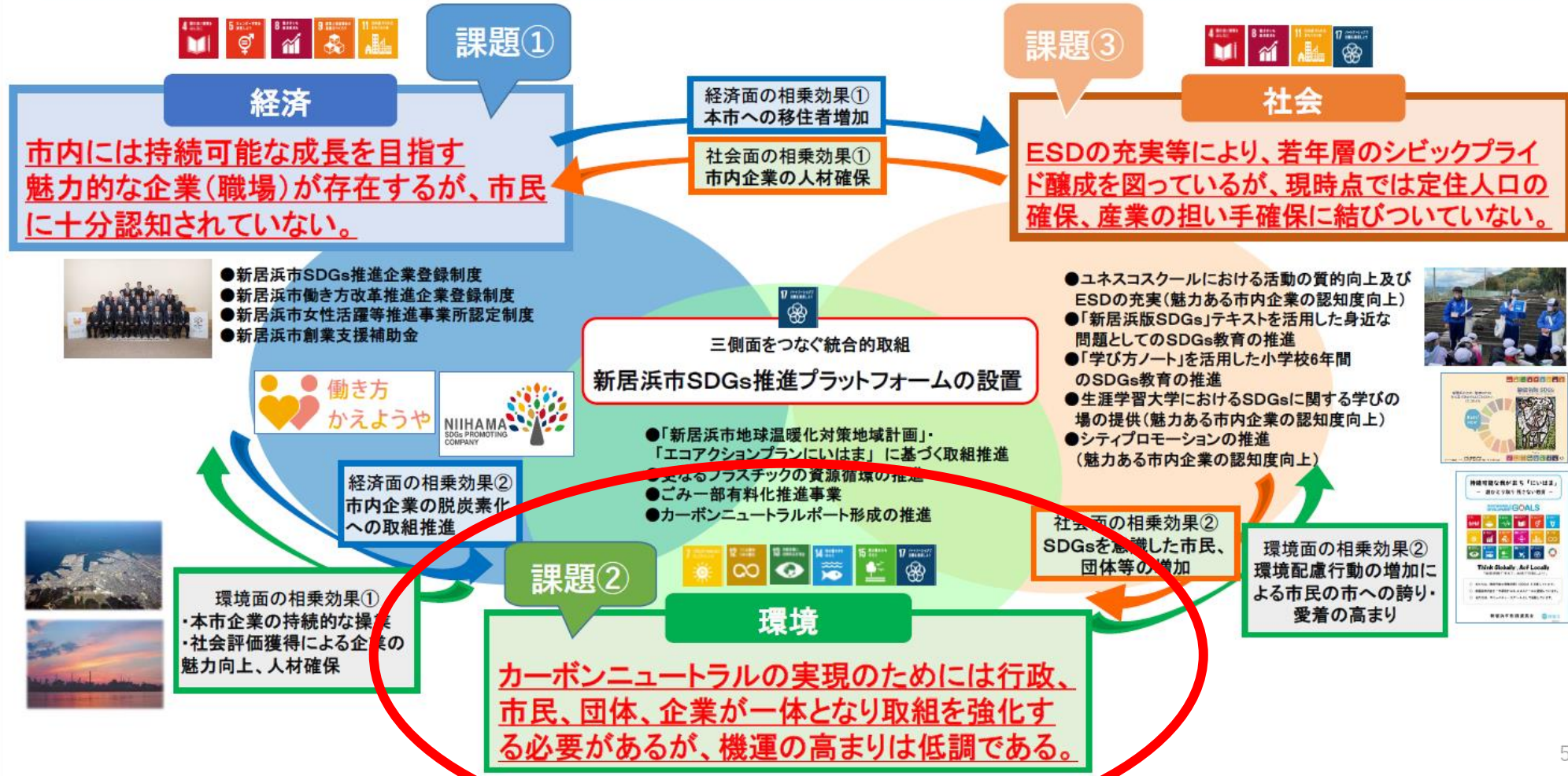
新居浜市SDGs推進プラットフォーム分科会資料【進捗報告】



2024年11月8日
アサヒユウアス株式会社
One Asahiユニット
ローカルSDGs専任リーダー

解決したい課題【再掲】

新居浜市における3分野の地域課題について



資源循環推進によるカーボンニュートラルの推進 分科会【再掲】

| | |
|---------------------|---|
| 目的 | <p>①プラスチックの資源循環、ごみ焼却・食品廃棄ロス削減を推進し、カーボンニュートラルに繋げる</p> <p>②小中学生をはじめとした、市民の環境に対する意識向上</p> |
| 活動内容 ※詳細は、次ページ以降 | <p>①家庭用PETボトルの水平リサイクルの推進 ぜひご参加ください！ → 自販機・小売り・清掃・環境関係 ⇒ 啓発活動、回収方法に課題有。引き続き協議継続</p> <p>②オリジナル森のタンブラー製作によるごみ焼却、プラゴミ削減 ぜひご参加ください！ → 林業・農業、小売り・サービス・観光・イベント業 ⇒ 未利用材使用タンブラー7月末製造、メディアにも露出</p> <p>③環境・SDGs認知度向上を目指した啓発活動 ぜひご参加ください！ → 教育関係、サービス業、観光・イベント業 ⇒ 2月にイオン新居浜店チアズクラブで実施。 小・中学校への継続実施に課題。テーマ・内容に工夫必要 高校への実施も検討</p> |
| スケジュール | 別紙 |
| 担当窓口・連絡先 | アサヒユウアス株式会社 One Asahiユニット 吉原 敦 電話:080-7789-1319 メール:atusi.yosihara@asahi-youus.com |

①家庭用PETボトルの水平リサイクルの推進



資源循環に向けて、家庭から回収したPETボトルからPETボトルへのリサイクル量を増やす

分科会参加企業

社会福祉法人 わかば会



全員でPETボトル回収に取り組む
⇒PETボトル回収、リサクル数量増

新居浜市窓口

市民環境部環境エネルギー局 廃棄物対策課
企画部 総合政策課(事務局)

進捗状況

2026年度実施に向けて関係各部署と再度調整

■回収量を増やすための施策実施

- ・わかば会活動(課題クリアに向けて調整中)
- ・小中学校の児童への環境学習実施による啓発
⇒継続実施に向けての対応工夫、再度取り組み

今後の活動

11月:2025年対応決定⇒現状継続
12月以降:継続実施に向けた打合せ実施
2026年度からの切替に向けて取り組み継続

②オリジナル森のタンブラー製作によるごみ焼却、プラゴミ削減

廃棄される間伐材等を加工したオリジナルタンブラー・マイボトルの活用推進。

| | | |
|------------------------|---|---|
| <p>分科会参加 企業団体等</p> | <p>三王ハウジング株式会社</p> <p>社会福祉法人 新居浜市社会福祉協議会 社会福祉法人 わかば会 株式会社マイントピア別子 新居浜市</p> | <p>▶ オリジナル素材森のタンブラー材料提供 ⇒住宅建築で発生する未利用の木材の活用</p> <p>▶ 取組に賛同いただきタンブラー購入</p> |
| <p>新居浜市窓口</p> | <p>企画部 総合政策課(事務局)</p> | |
| <p>進捗状況</p> | <p>会員企業に希望を募り、1,420個受注【2024年7月納品済】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 7月末までに納品済み <ul style="list-style-type: none"> わかば会・・・利用者のカップとして使用⇒愛媛新聞取材あり。メディア露出 マイントピア別子・・・売店で販売 三王ハウジング、新居浜市社会福祉協議会、新居浜市・・・記念品として使用 ■ 東京でもリリース対応:といあわせもいただく | |
| <p>今後の活動</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 更なる賛同企業獲得に向けて活動 ■ 毎年実施できるような仕組みづくり | |

②オリジナル森のタンブラー製作によるごみ焼却、プラゴミ削減・未利用資源の活用



※デザインは全部で5種類



市内社会福祉施設の
利用者に活用されている。

③環境・SDGs認知度向上・行動変容を目指した啓発活動

希望する小中学校で出前授業を実施。環境・SDGs認知度向上・行動変容を目指す

分科会参加企業

新居浜市生涯学習センター



イベントでのワークショップや出前授業で協力

新居浜市窓口

企画部 総合政策課(事務局)

進捗状況

2024年2月:イオン新居浜店チアズクラブ環境授業&ワークショップ実施

■本分科会で環境啓発を掲げている、新居浜市生涯学習センター原さんに協力をいただき実施。主催のイオン新居浜店からも評価いただき、今後も継続して実施していく計画
参加人数:12名



今後の活動

2025年度:継続実施に向けて課題有。テーマ・内容の工夫必要